



俺
ので

奥
さん

あ
げ
ま
す
ね
?

欲求不満な人妻が

隣人留学生の

XLち○ぽに墮ちるまで...

9



わあ...美味しそう!



喜んでくれて嬉しいです
誘った甲斐がありました

ああ...ありがとう...
でも背中とか
大胆すぎないかな...?

そんなことありません!
こんな美女連れ歩ける
僕は幸せですね

一緒に選んだドレスも
似合ってますね♡

看病の日から
少しして:



アレクが大学の教授から
ホテルの豪華ディナー付き
宿泊券をプレゼントされた
らしく

そうかな…?

私に謝罪も込めてと
お誘いをしてくれたのだ

周りから
見られてる気が
しちゃう…

ほいほいほい

まさかこの前の風邪が
仮病だったなんて…

友達とBBQに行っていた
はずのカズ君…が
帰ってきたのは翌日で

モウ

泊まりの連絡を知って
アレクはあの後1日中…



私を離してくれなかった

あれナツキ
カズから今日はお泊まりの
連絡来てますよ

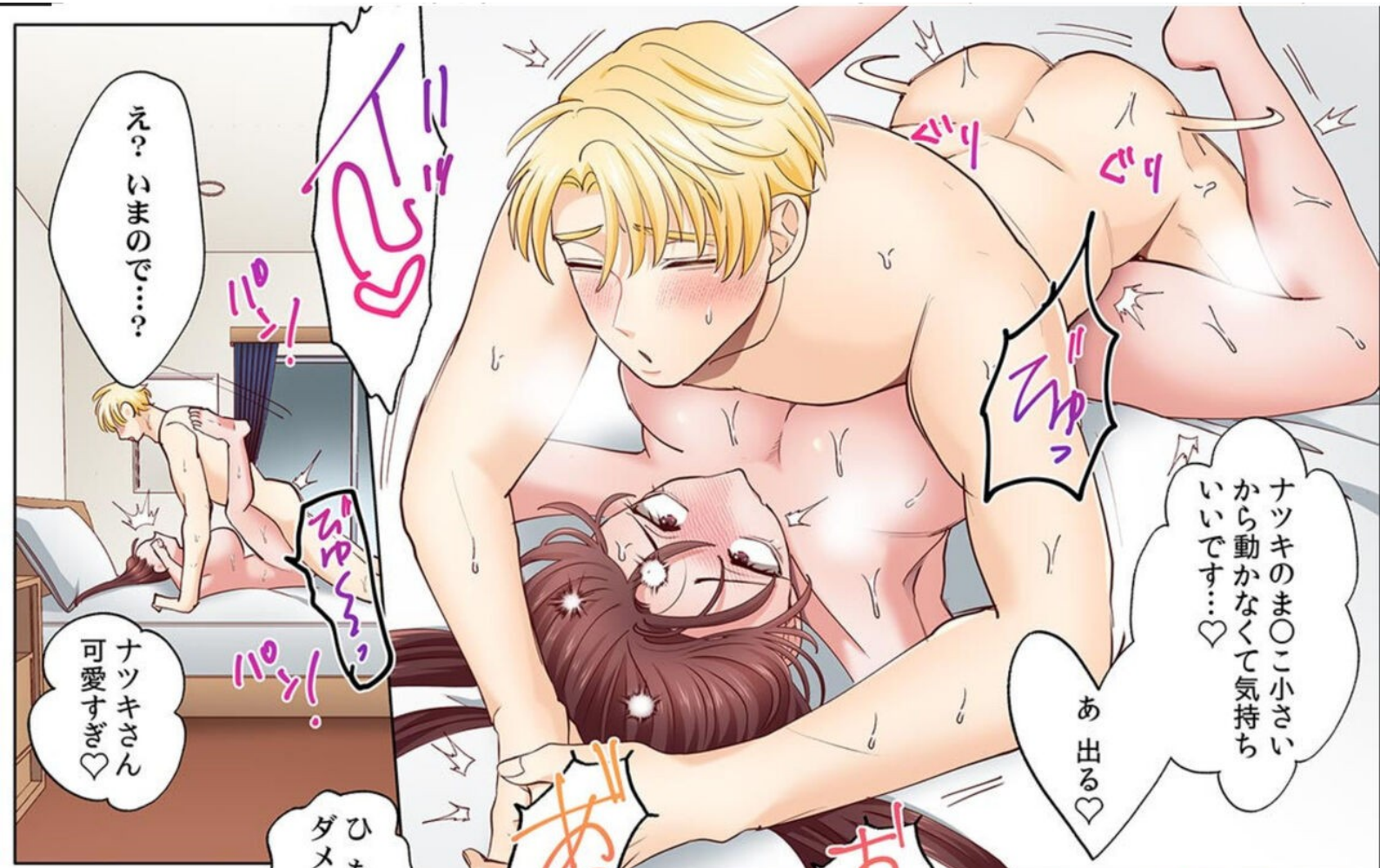
あアレク……♡
もう抜いてっ……♡

カズも帰らないって
いうしもう少し俺の
ペ〇スで蓋してようね♡



だめですよせつかく
出したのに漏れちゃう
でしょ♡

しよしよんたっ……♡



ナツキのま〇こ小さいから動かなくて気持ちいいです…♡

あ出る♡

え？いまの…？

ナツキさん可愛すぎ♡

ひもうダメエ…♡



拗ねた手前
もう怒ってないなんて言えず…
どっちかと言うと…



その後仮病つてバシたアレクに平謝りされ…

しばらく禁欲します！

なんて言われただけ…



多分私の方が期待している

いつも私なんて
すっほりおさまって...

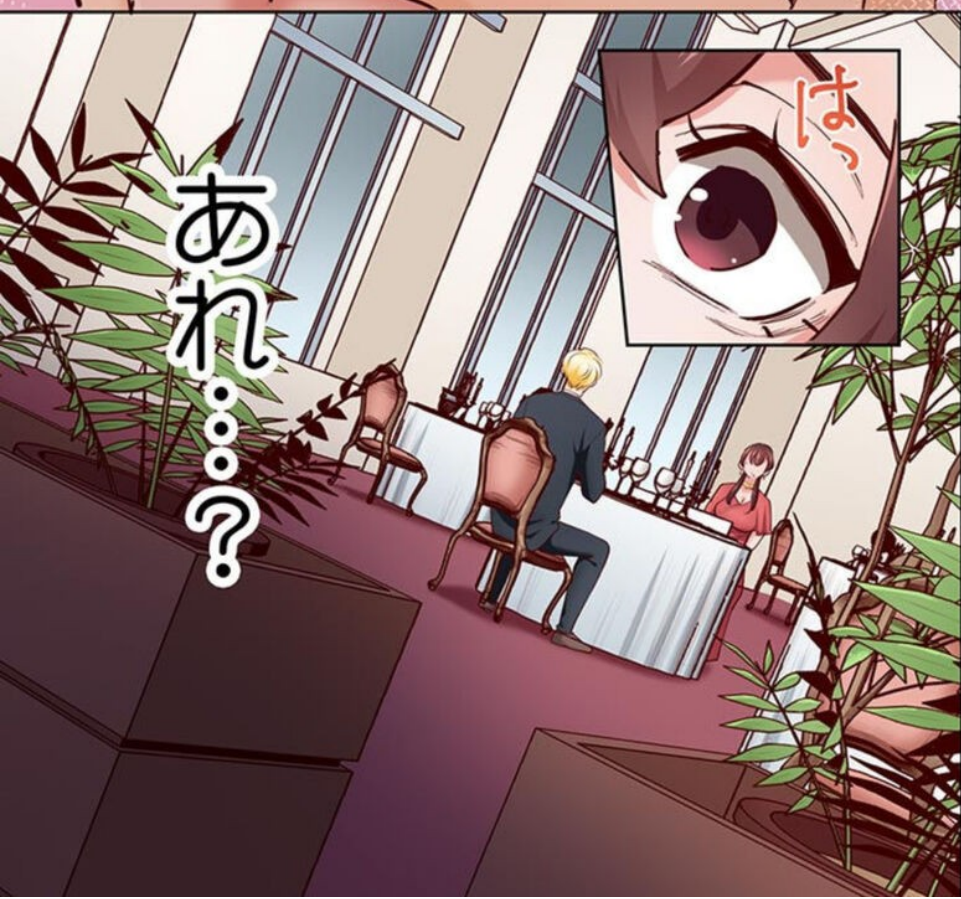


...アレク



身長が高いから
スーツ似合う...♡

手足も長いし
いいな...



あれ...?

はっ



ハッ

とほほ



ダメダメ...!
お水のもう...!

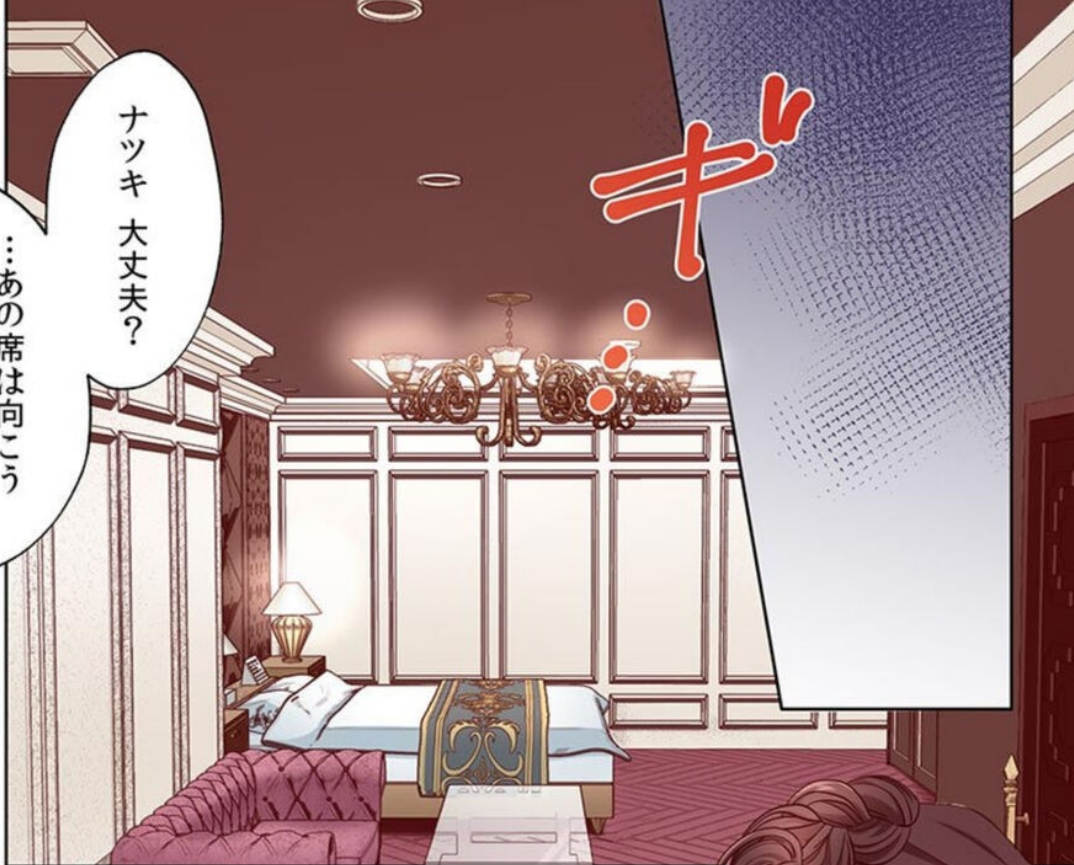
バン

バン



ナツキ 大丈夫？

…あの席は向こうから死角だったのでカズは気づいてないみたいでした



ギ

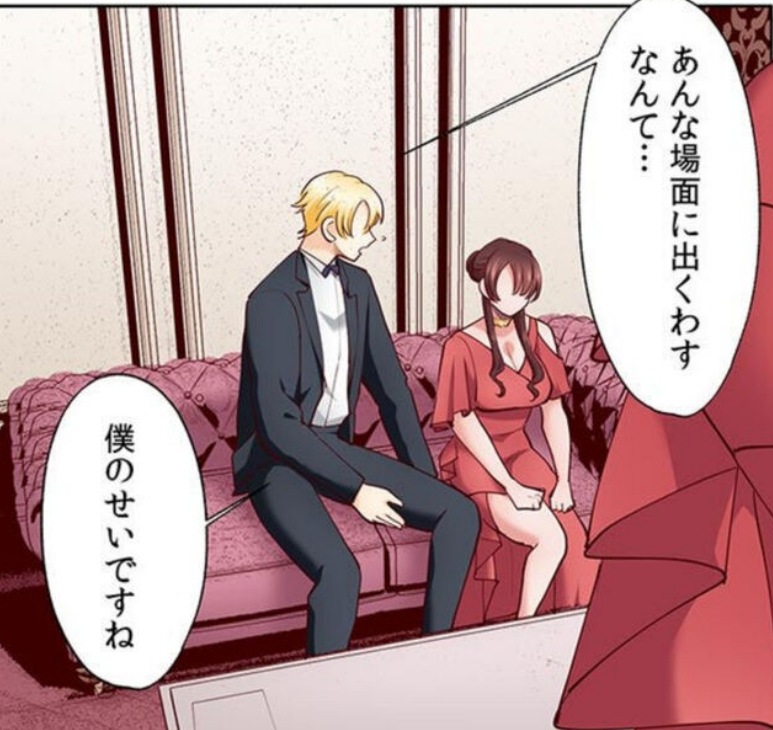


あんなに楽しそうに

カズくんはいつからなんだろう…

くすっ

私だって褒められないことしてる…

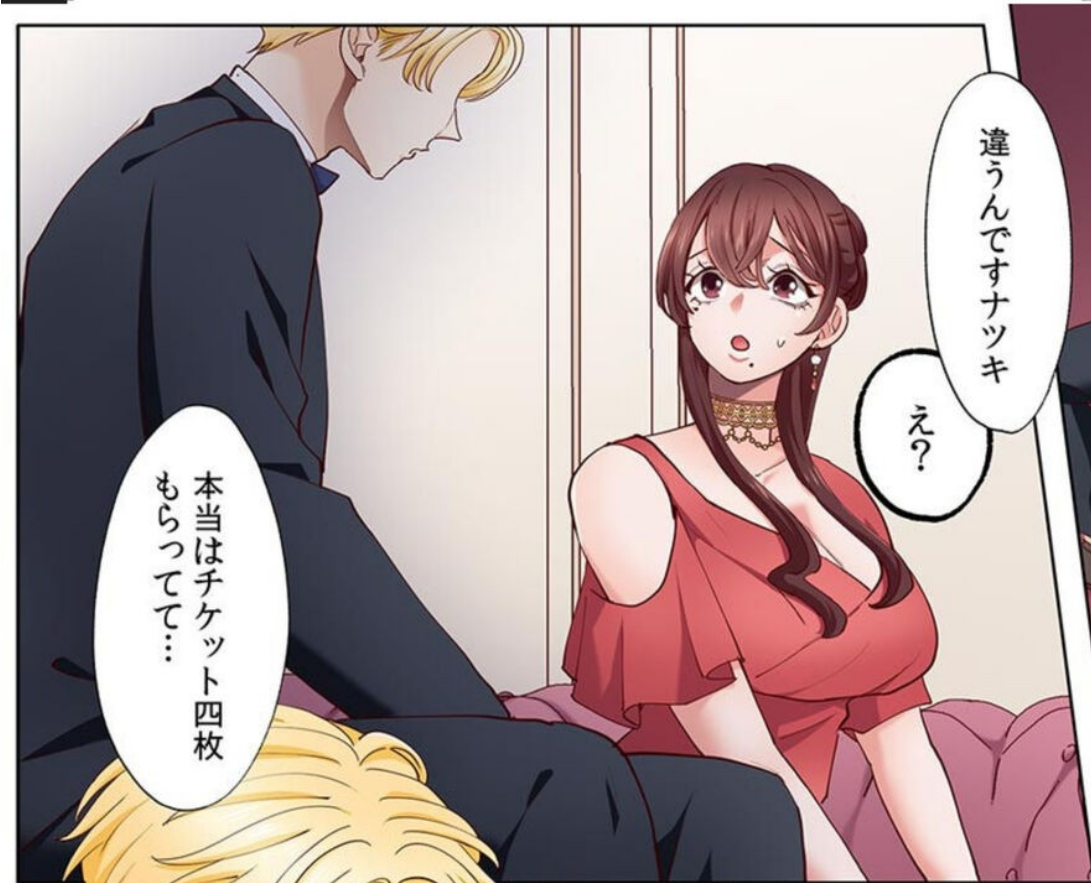


あんな場面に出くわすなんて…

僕のせいですね

うん…

ほら座って…



本当はチケット四枚
もらってて…

え？

違うんですナツキ



アレクは悪くないよ…



ナツキと2人で行かせるの
いやだったけど最近悩んでる
と思ったから…

誘われてないと知って
じゃあ僕が…

でもまさか違う人と…



カズにこの前二枚
渡したんです

大切な人を誘って
行ってくださいって…



絶対誘うわ!!

まじで!?!
サンキューな!!

大切な人

ズキッ

じゃあもう
カズ君は私を愛して…

泣かないで
ナツキ…

大丈夫だから…

グ
スツ…

スツ…

奥さん見てくれた？
そろそろこの男飽きて
来ちゃった…

協力したんだから
あの話忘れないでよね！

ポン



かわいいそうに…

ナツキ
僕の瞳を見て

あアレク…



ゴッ



愛しています

ぎゅん

や…

あなたが今
カズと結婚していても
将来は僕と
一緒にいてほしい



僕はもう…カズに
ナツキを任せるなんて
耐えられません

ド
キッ

何を…



ギッ

アレク…

じよ冗談
言わないで!

私…
何歳も年上だし
アレクだって…
まだ学生で…

僕は真剣です!
大学だって
もうすぐ
卒業します!

もう勤め先も
決まって
ナツキを守る
んです…!

ナツキ…?

…だって…

私も…
アレクのこと…
大好きだよ…

ちゃんと

愛してるよ…

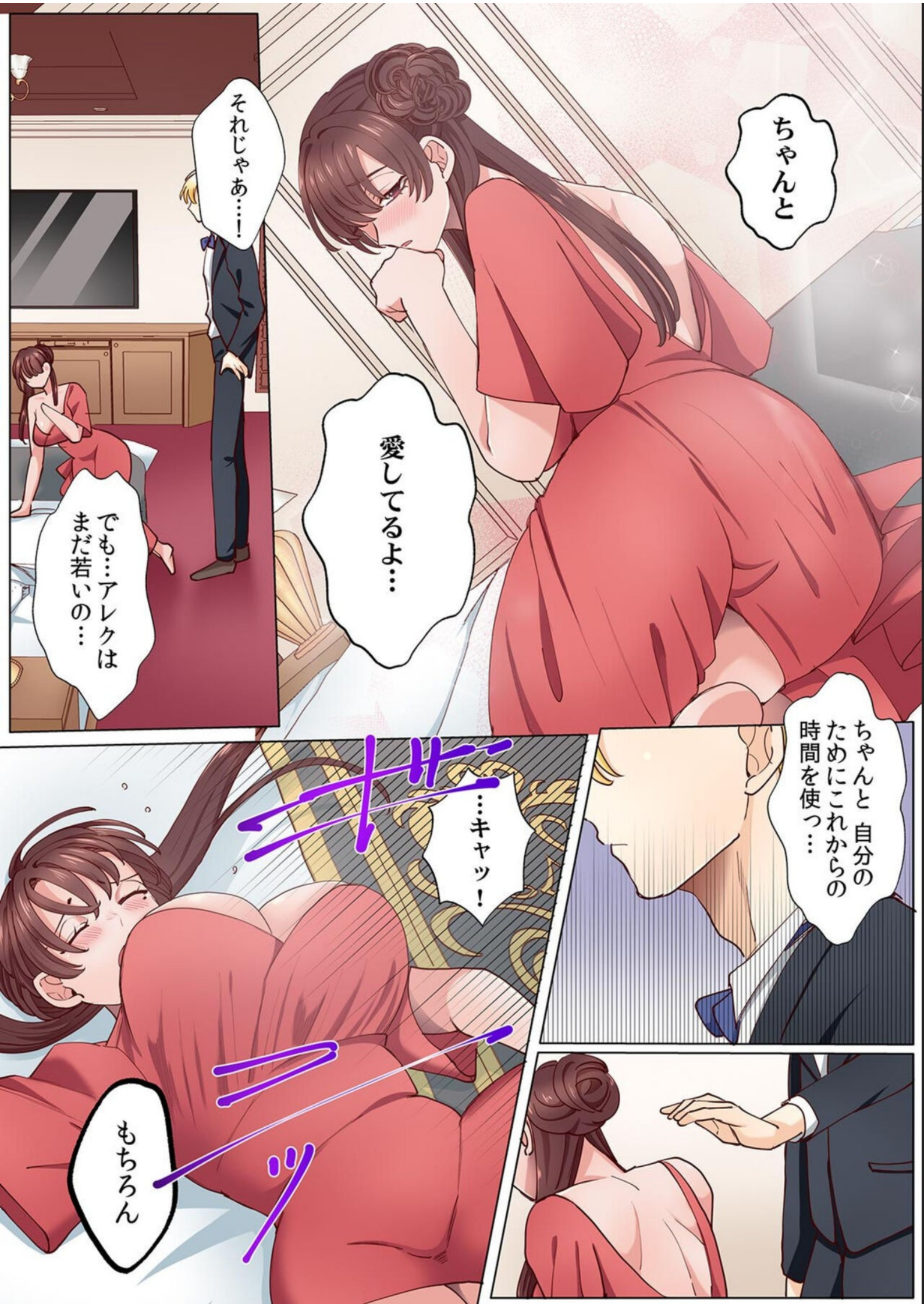
それじゃあ…!!

でも…アレクは
まだ若いの…

ちゃんと自分の
ためにこれからの
時間を使う…

…キヤツ!

もちろん





それに…



自分のために
使うんです

あアレク…

ギ



ナツキのここ…
もうカズだけじゃ
満足できないの

キゅ

は

知ってるん
ですよ？

む

い

む



あ...う...♡



や...だめ...
そこはっ

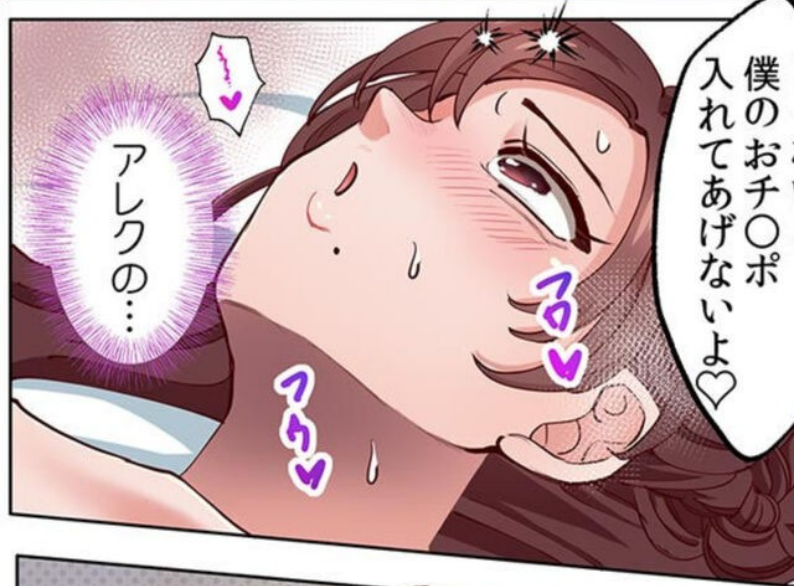
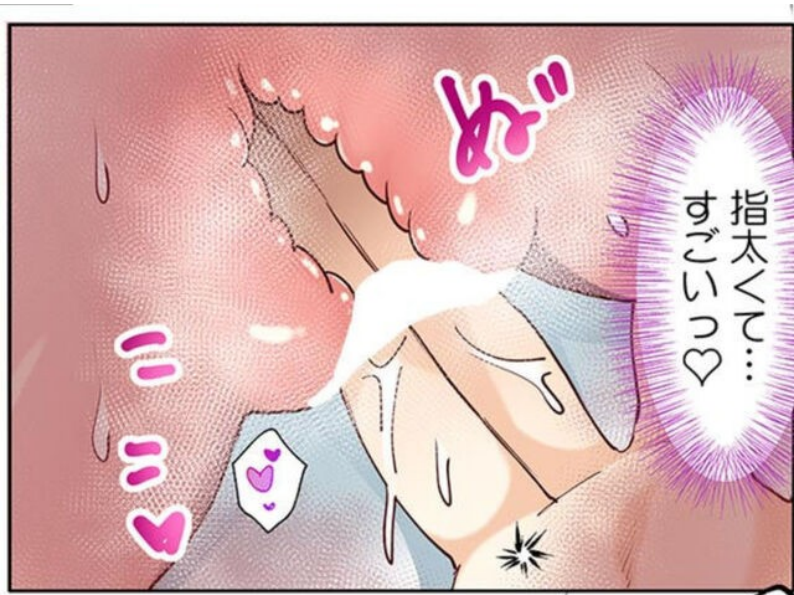


この前久々に
カズとしたん
でしよう？

義務セックス

どうでしたか？

気持ちよく
なれた？





アレク…の
方が…

アレクの指と
おち○ポの方が♡

いけないの

カズ君の
小さいち○ちんより
気持ちいいの♡

ほっ
はっ



嬉しいです
ナツキ♡

しばらくエッチも
してませんでした
もんね…

こんなにおま○こから
涎垂らして…
僕が慰めてあげる♡

きゃん

きゃん

おん







いくたびに…
カズ君との
思い出が…

壊れていく…

ハッ!

ハッ!

ハッ!

ハッ!

愛してる…っ♡

キュン♡

アレクが
一番…♡



浮気する旦那なんて
俺のピストンで忘れ
させてあげます♡

じゅん!

じゅん!

じゅん!

♡

お♡



最高にエッチですよ
ナツキさん…♡

ハッ!

ハッ!

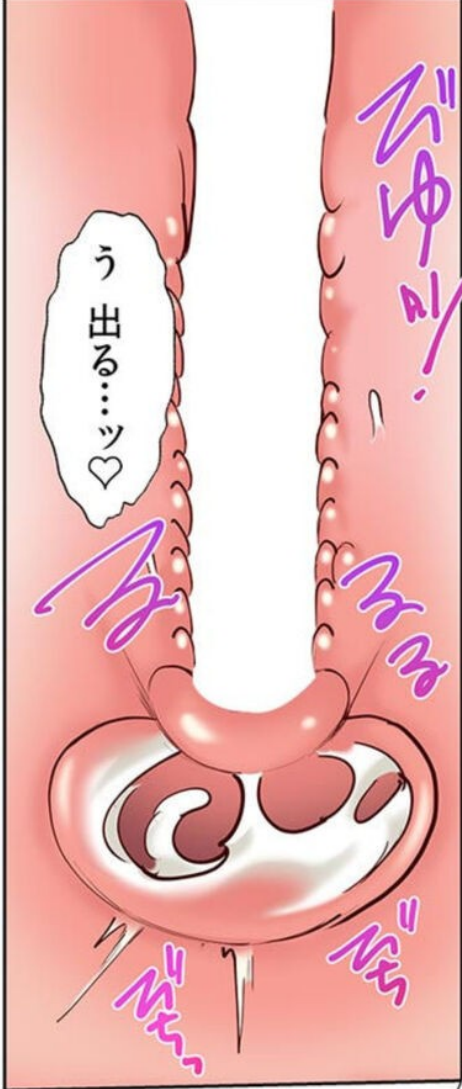
ハッ!

うん♡

両想い恋人記念に
俺の中出ししても
いいですよね？



うん...
きて...っ！♡



う出る...っ♡

イクウっ！！

おっ♡



あ熱いのがきてる...！♡

ナツキ専用の特濃精子
子宮口開けて
受け止めて！



だっ



あれナツキ...?

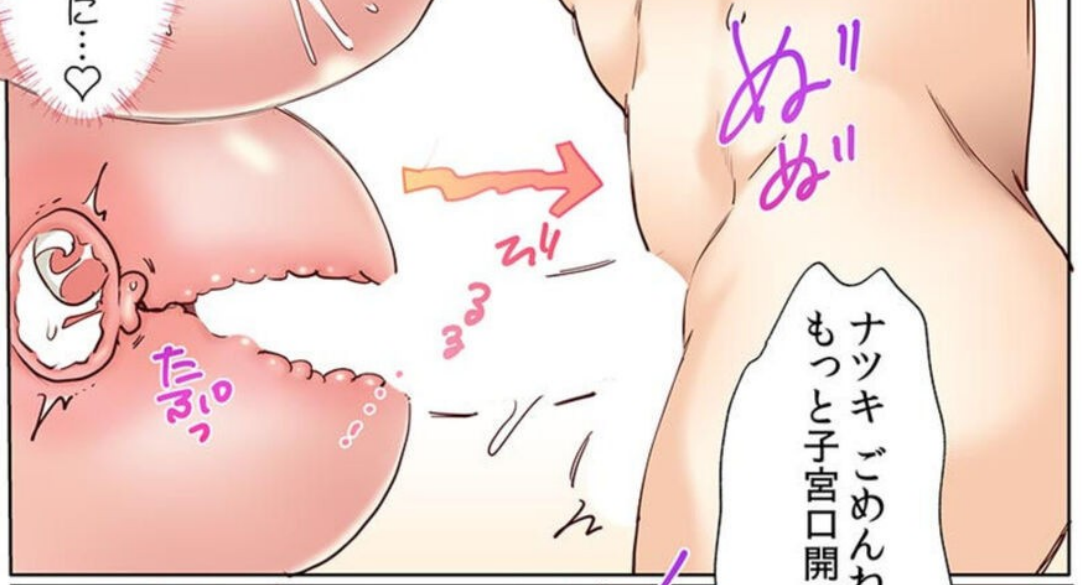
子宮に精子...
溜まってる...♡

も...だめ...♡

まだまだ田舎なの...♡

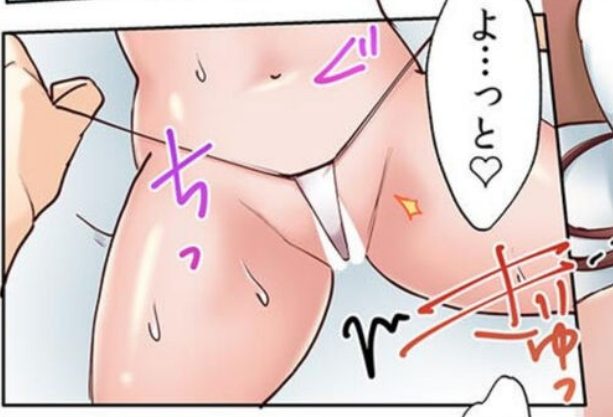



お〜すい♡
力ぬけて亀頭扱
できる...♡




ナツキごめんね♡
もって子宮口開いて...♡








眠ってても呼んでくれるなんて…
愛ですね♡




ふふ…目が覚めたら
お風呂入りましょう♡




カズなんて忘れて
ちゅ♡



ふふ…



安心して身も心も
僕だけのモノに
なろうね？



なで
なで

赤ちゃん…できると
いいなあ…



「奥さんの穴、俺ので塞いであげますね？」
欲求不満な人妻が隣人留学生のXLち○ぽに堕ちるまで…【フルカラー】(3)

著者 あずまやまんぢゅう

発行 カゲキヤ出版

本書の無断転載・複製等は著作権法上禁止されております。